



### 距離感の大切さ。

燕市役所まちあそび部  
まつい ゆう  
松井 優 さん

◀まちあそび部で活動する松井さん。ゆるい雰囲気を楽しくミーティングをしています。

まちあそび部に入って、スポーツ大会や国上山の竹を使った流しそつめんなど、いろいろな活動をしてきました。その中で私が一番印象に残っているのは、まちあそび学会の当日に担当した「まちあそび部ブレンド」のブースです。

一緒にブースを担当した大人たちが、高校生だけでなく来場者にも積極的に話しかけて、場の雰囲気づくりをしてくださいました。大人との関わりの中で、人の距離感の大切さに気づきました。この時は、今までで一番人と関わりを持った機会だったと思います。緊張しましたが、いろいろな人と話すことが本当に楽しかったです。



### 形にとらわれないこと。

燕市役所まちあそび部 OG  
エン  
燕ジョイ活動部  
あ  
み  
阿部 美希 さん

私が参加していたときは、水鉄砲でサバイバルゲームをしたり、ゆるキャラと一緒にイベントをしたり、とにかくゆるいあそびを大人を巻き込みながら活動していました。今のメンバーの活動は当時と違って、いろいろなジャンルに取り組んでいると思います。メンバーが入れ替われば活動内容が変わるのは当然で、形にとらわれないところが重要ということをまちあそび部の活動で学びました。私は、現在燕ジョイ活動部のメンバーとして活動しています。学んだことを生かしながら、新しいことにこれからもチャレンジしていきたいです。



▲まちあそび部の1期生として活動した阿部さん。

## わたしたちの変化したこと。

燕市役所まちあそび部が、まちや地域の人、そしてメンバー自身に与えたことは何なのでしょう。活動している高校生と関わりをもち、一緒に活動していただいた人に聞きました。



### 思いついたら即行動。

吉田北まちづくり協議会事務局  
あべ あけみ  
阿部 明美 さん

◀「ゆるキャラバスケット権」では、高校生と大人が全力であそびながら交流しました。

コロナ禍で協議会活動を休止していた中で、この先の展望が見えませんでした。その時、まちあそび部から声をかけてもらったのですが、直感で何か活動のヒントが得られるのではないかなと思いました。一緒に活動して感じたことは、「やってみないと正解はわからない」ということ。アイデアをすぐ形にしていくなちあそび部の姿をみて、大人が高校生に気づかされました。まちあそび部に倣って、方言戦隊メテオレンジャーなどの協議会活動は思いついたら即行動を意識して取り組んでいます。



### 番組制作の参考に。

燕三条エフエム放送株式会社  
あさひ しんや  
浅妻 真也 さん

◀ラジオ番組「JKのひるやすみ」では、高校生と一緒に番組企画・制作をしました。

ラジオ番組「JKのひるやすみ」は、聞いたことに答えてもらうといった形式的な番組ではなく、女子高生が喋りたいことを遠慮なくひたすら喋り続ける番組でした。通常の番組制作とは違った、ゆるい雰囲気の収録はとても楽しかったです。一緒に番組をつくってみて感じたことは、自然体でフレッシュなトークはリスナーだけでなく、一緒にいる大人にも元気を与えてくれるということ。いろいろなジャンルの番組がありますが、彼女たちの雰囲気を参考に番組づくりをしています。



### 高校生の視点を仕事に活用。

コーヒーガレージ コンテンポラリー  
さいとう ろま  
齊藤 桐麻 さん

◀オリジナルコーヒー「まちあそび部ブレンド」は2月から齊藤さんの店舗にて限定販売します。

まちあそび学会でのお披露目に向けて、オリジナルブレンドコーヒーの開発をお手伝いしました。このコーヒーは、豆の配合や味、香りのイメージなど全てまちあそび部の高校生が考えたものです。あそびとはいえ新しいことに真剣に取り組み、楽しみながら知識を深めていく姿に感心しました。この体験を私は、若いお客様に商品提案するときに活用しています。専門家目線だけでなく、開発時の高校生の反応や若者視点をお客様にお話しすることで、共感を得やすくなりました。自分にはない高校生の視点が参考になるので、このつながりを大切にしていきたいと思っています。

